

I 平成21年度決算について

1. 平成21年度決算概況

平成21年度決算については、**図表1～3**をご覧ください。平成21年度は、主に新学部校舎棟新築工事、教育学部棟ピアレッスン室等改修工事、大学体育館空調機設置工事を行い、決算の各種指標に表れています。

2. 消費収支計算書について

消費収支計算書とは、外部資金によらない収入(帰属収入)をどのように消費したか(消費支出)及び継続的に保持する資産(基本金)にどのくらい配分したか(帰属収入－基本金を「消費収入」という。)を明らかにして、学校法人の永続的な維持を図るため、消費収支の均衡の有無を明らかにする指標です。

平成21年度と平成20年度との比較表は、**図表1**のとおりです。

消費収入の部では、帰属収入が94億76百万円で前年度と比較して4億12百万円増加しました。そのうち、学生生徒等納付金が74億55百万円で、前年度と比較して在籍学生数の増加により2億99百万円増となり、帰属収入に対する構成比率は78.7%となっています。また、補助金は13億4百万円で前年度と比較して35百万円増加となり、13.8%の構成比率となっています。

次に基本金組入額は、新学部校舎棟建築工事、教育学部棟ピアレッスン室等改修工事、大学体育館空調機設置工事等による有形固定資産の増加に伴う第1号基本金への組入れ、奨学資金のための第3号基本金への組入れて合計22億13百万円となりました。この結果、消費収入は、72億63百万円となり、前年度と比較して93百万円増加しました。

一方、消費支出の部では、総額85億99百万円で前年度と比較して50百万円減少しました。そのうち、人件費は、54億15百万円で構成比率57.1%と高い比率となっています。また、教育研究経費は、24億28百万円で前年度と比べて70百万円減少となり、構成比率は25.6%となりました。

資産処分差額は、85百万円で前年度と比べて1億78百万円の減少となっていますが、平成21年度は、有価証券の評価替えが生じなかったことによる差額です。

消費収入から消費支出を差し引いた消費収支差額は、13億36百万円の消費支出超過となり、翌年度繰越消費収支差額が59億73百万円の繰越消費支出超過で、消費収支均衡を図る上でこの繰越消費支出超過の改善を行わなければなりません。

3. 資金収支計算書について

資金収支計算書とは、消費収支項目に積立金や借入金等の外部資金を加えて、当該会計年度の教育研究活動に対応する全ての資金の収入・支出を明らかにし、支払資金の収入・支出の顛末を明らかにする指標です。

平成21年度と平成20年度との比較表は、**図表2**のとおりです。

資金収支上の科目として、収入の部では、借入金等収入、前受金収入及びその他の収入があり、支出の部では、借入金等返済支出、施設関係支出、設備関係支出、資産運用支出及びその他の支出があります。借入金等収入には、高等学校授業料軽減に係る借入金が計上されています。前受金収入は、次年度の収入になるものを今年度に計上するもので、次年度入学生の入学金等が該当します。その他の収入は、施設・設備等の多額の支払資金に充てるために積立資産からの繰入収入等です。施設関係支出は、土地、建物等不動産取得に要した資金が計上されています。設備関係支出は、備品・図書等不動産以外の学園の資産となる資産取得に要した資金が計上されており、平成21年度からはソフトウェア費を含んでいます。資産運用支出は、積立金に充てる資金が計上されています。

平成21年度は、施設関係支出で14億1百万円、設備関係支出で6億34百万円を計上しています。

4. 貸借対照表について

貸借対照表は、会計年度末時点での資産・負債・基本金等の学園の財産状況を表す指標です。

平成21年度末時点での貸借対照表の概要は、**図表3**のとおりです。

資産総額は、395億45百万円で前年度末に比べて9億20百万円増加しています。新学部棟校舎建築工事、教育学部棟ピアレッスン室等改修工事、大学体育館空調機設置工事等により有形固定資産が増加し、奨学基金として第3号基本金引当資産2億30百万円の組入れ等によりその他の固定資産が増加し、現金預金等の流動資産が減少していることがわかります。基本金についても前年度末に比べて22億13百万円増加しました。

II 消費収支計算書の年度別財務比率比較について

図表4は、過去5年間において他の大学を持つ法人と本学園との財務比率の比較を行ったものです。

財務比率の中で、特に重要な学生生徒等納付金比率、人件費比率、教育研究経費比率、人件費依存率、消費収支比率、消費支出比率についてグラフ化したものが**図表5**に示しています。

学生生徒等納付金比率は、78.7%と高い比率になっており、帰属収入が学生生徒等納付金に負っていることがわかります。人件費比率は、57.1%と僅かに比率を下げたものの、他の学校法人とは4%程の開きがあり、かなり高率といえます。定年退職者の増減による変動

要因がありますが、人件費削減及び収入増加の方策を立てなければなりません。教育研究経費比率は25.6%で、前年度から2%比率を下げています。平成21年度からソフトウェア及び新規リース取引の廃止により、資産として計上するものが増加し、教育研究経費支出するものが減少したことが一つの要因です。

消費支出比率は、90.7%と前年度から4.7%減少し、消費収支比率では、依然として118.4%と100%を超えています。さらに、支出の見直しを行って経費削減に努めなければなりません。

図表1・平成21年度消費収支計算書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

●消費収入の部

単位:千円

科目	21年度決算	構成比(%)	20年度決算	差異
学生生徒等納付金	7,455,332	78.7	7,156,079	299,253
手数料	193,756	2.0	181,283	12,473
寄付金	90,320	1.0	60,139	30,181
補助金	1,304,131	13.8	1,268,837	35,294
資産運用収入	117,137	1.2	117,838	△701
事業収入	119,132	1.3	114,229	4,903
雑収入	196,181	2.1	165,242	30,939
帰属収入合計(A)	9,475,989	100.0	9,063,646	412,343
基本金組入額合計	△2,212,997	△23.4	△1,894,110	△318,887
消費収入合計(B)	7,262,991	76.6	7,169,536	93,455
帰属収支差額(A-C)	877,175		415,057	462,118

●消費支出の部

単位:千円

科目	21年度決算	構成比(%)	20年度決算	差異
人件費	5,415,176	57.1	5,293,104	122,072
教育研究経費	2,427,585	25.6	2,497,699	△70,114
管理経費	657,232	6.9	577,876	79,356
借入金等利息	13,158	0.1	15,663	△2,505
資産処分差額	84,971	0.9	263,272	△178,301
徴収不能額	692	0.0	975	△283
消費支出合計(C)	8,598,814	90.7	8,648,589	△49,775
当年度消費収支差額(B-C)	△1,335,823		△1,479,053	
前年度繰越消費収支差額	△4,637,334		△3,158,281	
基本金取崩額	0		0	
翌年度繰越消費収支差額	△5,973,157		△4,637,334	

図表2・平成21年度資金収支計算書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

●収入の部

単位:千円

科目	21年度決算	20年度決算	差異
学生生徒等納付金収入	7,455,332	7,156,079	299,253
手数料収入	193,756	181,283	12,473
寄付金収入	81,882	53,495	28,387
補助金収入	1,304,131	1,268,837	35,294
資産運用収入	117,137	117,838	△701
資産売却収入	500,000	300,000	200,000
事業収入	119,132	114,229	4,903
雑収入	399,552	208,176	191,376
借入金等収入	99,466	87,720	11,746
前受金収入	468,002	500,438	△32,436
その他の収入	360,760	1,722,034	△1,361,274
資金収入調整勘定	△956,551	△724,669	△231,882
当年度資金収入合計	10,142,599	10,985,460	△842,861
前年度繰越支払資金	4,175,974	3,003,410	1,172,564
収入の部合計	14,318,573	13,988,869	329,704

●支出の部

単位:千円

科目	21年度決算	20年度決算	差異
人件費支出	5,813,433	5,381,874	431,559
教育研究経費支出	1,562,151	1,655,118	△92,967
管理経費支出	587,293	508,153	79,140
借入金等利息支出	13,158	15,663	△2,505
借入金等返済支出	172,523	170,826	1,697
施設関係支出	1,400,968	1,570,084	△169,116
設備関係支出	634,002	213,158	420,844
資産運用支出	787,972	261,476	526,496
その他の支出	374,416	399,922	△25,506
資金支出調整勘定	△679,620	△363,379	△316,241
当年度資金支出合計	10,666,295	9,812,895	853,400
次年度繰越支払資金	3,652,278	4,175,974	△523,696
支出の部合計	14,318,573	13,988,869	329,704

●資産の部

単位:千円

科目	21年度末	20年度末	差異
固定資産	34,916,670	33,676,203	1,240,467
有形固定資産	27,265,275	26,283,391	981,884
土地	3,887,443	3,887,443	0
建物	18,172,743	16,470,387	1,702,356
構築物	880,834	914,946	△34,112
教育研究用機器備品	1,883,438	1,554,884	328,554
その他の機器備品	128,289	135,694	△7,405
図書	2,312,527	2,320,037	△7,510
建設仮勘定	0	1,000,000	△1,000,000
その他の固定資産	7,651,395	7,392,812	258,583
借地権	477	477	0
ソフトウェア	41,180	0	41,180
電話加入権	3,204	3,204	0
有価証券	3,401,168	3,401,168	0
退職給与引当資産	2,000,000	2,000,000	0
各種課程修費特定預金	57,374	41,450	15,924
第3号基金引当資産	840,000	610,000	230,000
減価償却引当資産	1,100,000	1,100,000	0
特別寄付金積立金	4,511	2,696	1,815
新学部設置準備特定預金	272	0	272
施設整備・教育研究充実特定預金	37,205	34,355	2,850
保証金	166,004	199,462	△33,458
流動資産	4,627,904	4,948,768	△320,864
現金預金	3,652,278	4,175,974	△523,696
未収入金	943,868	748,168	195,700
仮払金	2,567	11	2,556
前払金	17,773	16,556	1,217
貸付金	11,418	8,060	3,358
資産の部合計	39,544,574	38,624,971	919,603

●負債の部

単位:千円

科目	21年度末	20年度末	差異
固定負債	4,213,607	4,483,363	△269,756
長期借入金	869,652	944,523	△74,871
退職給与引当金	3,343,955	3,538,841	△194,886
流動負債	1,440,703	1,128,519	312,184
短期借入金	174,337	172,523	1,814
未払金	667,424	341,293	326,131
前受金	468,002	500,438	△32,436
預り金	130,940	114,264	16,676
負債の部合計	5,654,310	5,611,882	42,428

●基本金の部

単位:千円

科目	21年度末	20年度末	差異
第1号基本金	38,419,420	36,448,423	1,970,997
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	840,000	610,000	230,000
第4号基本金	604,000	592,000	12,000
基本金の部合計	39,863,420	37,650,423	2,212,997

●消費収支差額の部

単位:千円

科目	21年度末	20年度末	差異
翌年度繰越消費収入超過額	0	0	0
翌年度繰越消費支出超過額	5,973,156	4,637,334	1,335,822
消費収支差額の部合計	△5,973,156	△4,637,334	△1,335,822

負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	39,544,574	38,624,971	919,603
------------------------	------------	------------	---------

図表4・消費収支計算書の年度別財務比率比較

比率名称	算式(%)	評価	法人種別	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
				17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
収入構成	学生生徒等納付金比率 学生生徒等納付金 帰属収入	—	椋山女学園	78.2	77.9	78.9	79.0	78.7
			除医歯系	72.6	72.9	71.6	73.0	
			同規模	68.5	68.2	66.1	67.4	
収入構成	寄付金比率 寄付金 帰属収入	△	椋山女学園	1.6	0.5	0.5	0.7	1.0
			除医歯系	3.4	2.3	3.0	2.4	
			同規模	1.8	1.9	3.1	2.1	
収入構成	補助金比率 補助金 帰属収入	△	椋山女学園	15.0	15.6	14.5	14.0	13.8
			除医歯系	12.5	12.3	12.1	12.5	
			同規模	12.7	12.6	12.5	12.8	
支出構成	人件費比率 人件費 帰属収入	▼	椋山女学園	58.1	61.8	61.5	58.4	57.1
			除医歯系	51.3	52.0	51.4	52.8	
			同規模	51.5	51.6	52.2	53.1	
支出構成	教育研究経費比率 教育研究経費 帰属収入	△	椋山女学園	28.1	27.0	26.9	27.6	25.6
			除医歯系	28.5	29.3	29.7	31.0	
			同規模	28.6	29.3	28.8	30.6	
支出構成	管理経費比率 管理経費 帰属収入	▼	椋山女学園	7.4	8.2	7.0	6.4	6.9
			除医歯系	8.5	8.5	8.7	9.9	
			同規模	8.1	8.1	8.7	9.5	

注1) 評価欄の評価については、一般的に次のとおりといわれています。「今日の私学財政」より。
△:高い方がよい ▼:低い方がよい -:どちらともいえない

注2) 法人種別欄については次のとおりです。
除医歯系:医歯他複数学部および医歯単一学部の大学法人を除く
同規模:学生生徒数 5,000~8,000人の大学法人

注3) 基本金組入率は収入からの控除科目であるため、基本金組入率は支出構成指標としています。

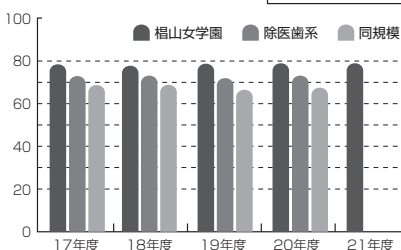
比率名称	算式(%)	評価	法人種別	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
				17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
支出構成	減価償却費比率 減価償却額(教育+管理) 消費支出	—	椋山女学園	9.3	9.6	10.6	10.1	10.9
			除医歯系	11.7	11.5	11.4	10.9	
			同規模	11.1	11.3	10.4	10.3	
支出構成	借入金等利息比率 借入金等利息 帰属収入	▼	椋山女学園	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
			除医歯系	0.5	0.5	0.5	0.4	
			同規模	0.6	0.6	0.5	0.4	
支出構成	基本金組入率 基本金組入額 帰属収入	△	椋山女学園	8.6	14.7	10.6	20.9	23.4
			除医歯系	15.9	14.6	11.6	13.2	
			同規模	11.9	12.6	14.8	11.2	
収支バランス	人件費依存率 人件費 学生生徒等納付金	▼	椋山女学園	74.3	79.3	78.0	74.0	72.6
			除医歯系	70.7	71.3	71.7	72.3	
			同規模	75.1	75.8	78.8	78.7	
経営状況	消費収支比率 消費支出 消費収入	▼	椋山女学園	107.8	118.5	107.5	120.6	118.4
			除医歯系	107.5	107.8	108.3	115.0	
			同規模	104.0	105.5	111.1	115.6	
経営状況	消費支出比率 消費支出 帰属収入	▼	椋山女学園	98.5	101.0	96.2	95.4	90.7
			除医歯系	90.4	92.0	92.6	99.8	
			同規模	95.0	92.3	94.7	102.6	

図表5・消費収支計算書の年度別財務比率比較

(別表4より一部をグラフ化)

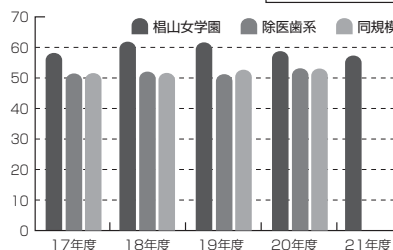
●学生生徒等納付金比率(%)

学生生徒等納付金
帰属収入



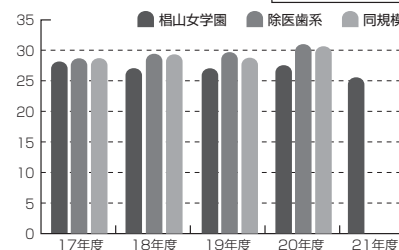
●人件費比率(%)

人件費
帰属収入



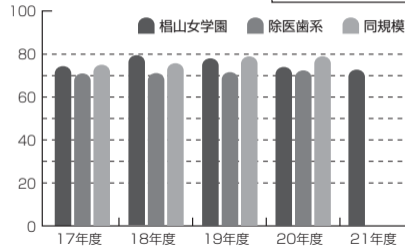
●教育研究経費比率(%)

教育研究経費
帰属収入



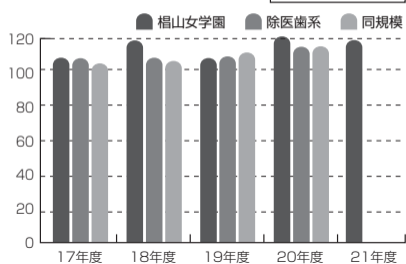
●人件費依存率(%)

人 件 費
学 生 生 徒 等 納 付 金



●消費収支比率(%)

消 費 支 出
消 費 収 入



●消費支出比率(%)

消 費 支 出
帰 属 収 入

